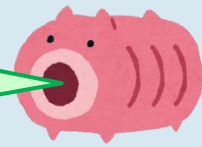


かなざわ

第14号



ボランティアセンター通信

♪ボラセン登録者向け「傾聴研修」を実施しました♪

金沢区ボランティアセンターでは、ボランティア登録者の日頃の活動をサポートするため、スキルアップを目的とした研修会を開催しています。

今回のテーマは「傾聴」。傾聴は信頼関係を築くためのコミュニケーション技法であり、様々なボランティア活動に役立ちます。研修では隣同士でペアになり、互いに話し手と聞き手を交互に体験するロールプレイを交えながら、傾聴の大切さや効果、ポイント等を学びました。



令和4年5月26日(木)開催
30名の方にご参加いただきました！

講師
NPO 法人こころの電話金沢
理事長 若栗 恭子氏



参加者アンケートでは、「活動にも日頃の生活にも役立つ内容だった」「関心を持って、共感をもって素直に聴く、心掛けます」「聴くということの難しさを感じました」といった感想をいただきました。

ボラセン おしゃべりひろば

9月よりスタートします！日頃のボランティア活動のこと、これからの活動のこと、コーディネーターや仲間と話しませんか？

R4年度の開催日

9月12日(月) 11月10日(木) 1月10日(火) 3月10日(金)

14時30分から15時30分 いきいきセンター金沢2階

参加を希望される方は事前にボランティアセンターへご連絡ください♪
お気軽にご参加ください！お待ちしております。

ボランティアセンターの活動状況について(令和3年度実績)

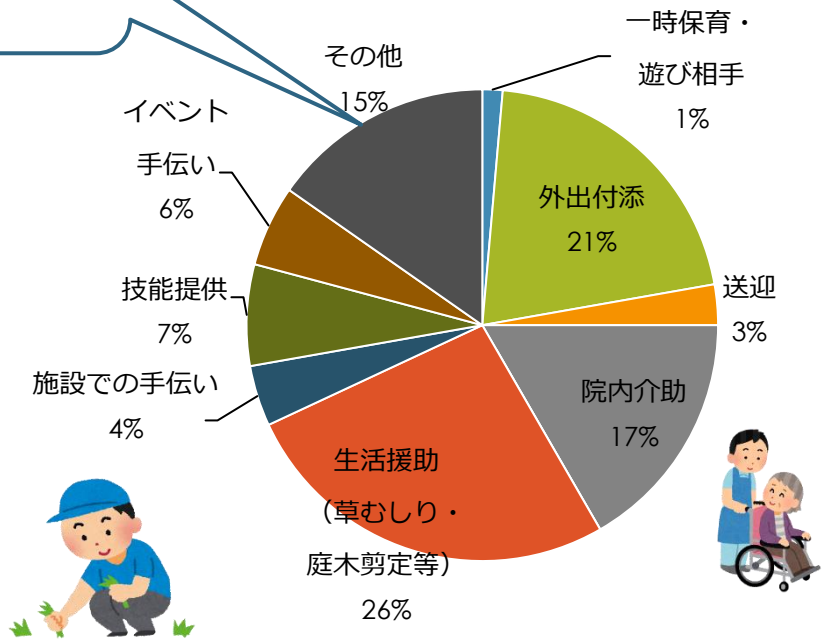
金沢区ボランティアセンターに寄せられたボランティア依頼は、令和3年4月1日から令和4年3月31日で計**72件**(R2年度比**-22件**)でした。新型コロナウイルスの影響で、施設での手伝いやイベントの手伝いの相談は減っておりますが、生活援助や外出付き添い、院内介助のニーズが多い状況でした。

ボランティア登録者は累計**479名**、うち令和3年4月1日から令和4年3月31日の新たな登録者は**46名**(R2年度比**+30名**)です。高校生から80歳を超える方まで幅広い年齢の方が活躍されております。

★その他の内訳★

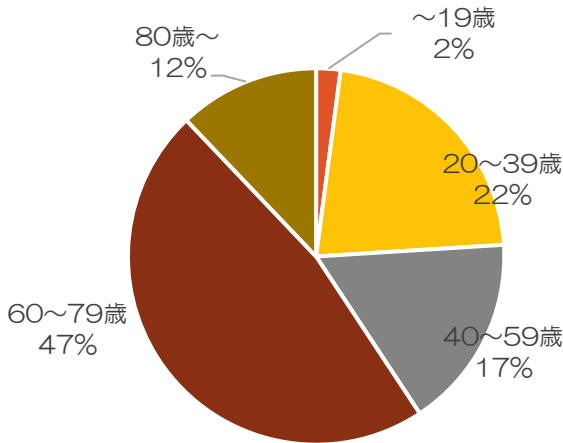
傾聴、子ども食堂の支援、教育支援員、スマホの操作、手紙の清書など

ボランティア依頼の内訳 (R3年4月~R4年3月)



ボランティア登録者の年齢別内訳

(R4年3月末時点)



金沢こだまの会共催「ボランティア入門講座」参加者募集

金沢こだまの会は、視覚障がい者に対して様々な支援を行うボランティア団体です。

秋から冬にかけて開催するボランティア入門講座の参加者を募集します。10月に開講する誘導、拡大写本講座の詳細は広報よこはま9月号をご覧ください。9月以降各窓口へお問い合わせください。音声訳講座については後日お知らせいたします。

拡大写本講座

視覚障がいのあるお子さん向けの拡大教科書作成などをパソコンを用いて行います。
10/6(木)開講(全8回)

誘導講座

視覚障がいのある方が安全に外出できるよう手助けします。
10/6(木)開講(全6回)

音声訳講座

視覚障がいのある方のために書籍や雑誌、新聞などの文字による情報を音声に変えて伝えます。
1/11(水)開講(全8回)

《お問い合わせ》(誘導講座)金沢区移動情報センター ☎ 045-786-8034

(拡大写本・音声講座)金沢区ボランティアセンター ☎ 045-784-2222

FAX:045-784-9011 mail: info@kanazawa-shakyo.jp

月~土 9:00~17:00【日曜・祝日・施設休館日(毎月最終土曜)・年末年始を除く】